

富士山登山鉄道構想の検討について

山 梨 県

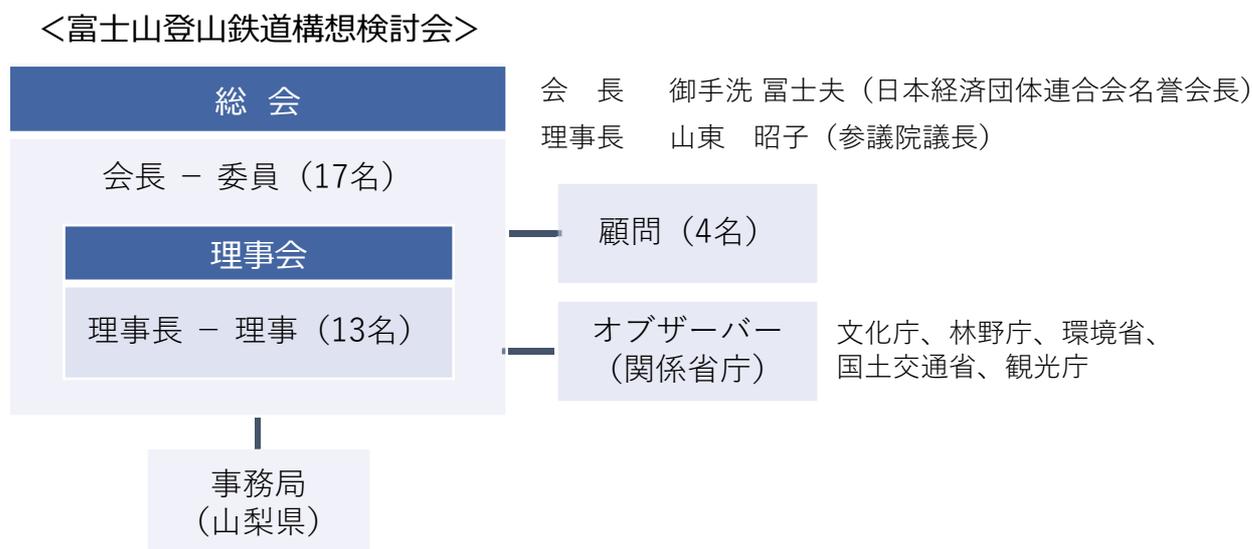
1. 目的

- 富士山中にあって、特に利用者が集中している、山梨県側の五合目に至る交通システムについて、環境や景観の保全、来訪者の平準化、防災対策等の観点から、長期的な視点に立ってそのあり方を検討する。

2. 概要

- 富士山の現況や課題を踏まえ、自動車交通から鉄軌道などの新しい交通システムへの転換の可能性を、技術的、制度的、経済的に検証するとともに、環境や景観、地域経済への効果や影響などを検証し、その成果を**基本構想**としてとりまとめる。

3. 検討体制



4. スケジュール (想定)

2019 (R1) 年度

- 5月 勉強会 (今後の進め方)
- 7月 理事会① (調査内容・スケジュール等)
- 9月 理事会② (先進事例研究)
- 10月 理事会③ (現地視察、現況・課題整理)
- 1月 理事会④ 総会① (中間報告案の検討)

2020 (R2) 年度

- 5月 理事会⑤ (基本構想策定方針の検討)
- 9月 理事会⑥ (基本構想骨子の検討)
- 11月 理事会⑦ 総会② (基本構想案の検討)
- 12月 基本構想公表